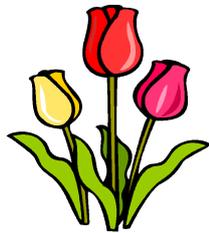
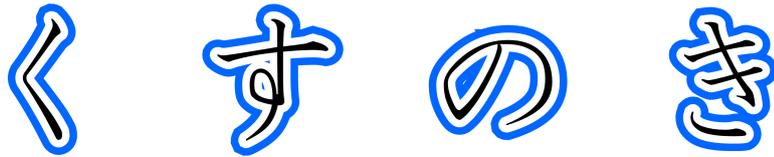


小名浜三小 学校だより
No.2
平成29年5月1日

校長 岡 亮



話をよく聞き 進んで考える子の育成

本校が目指すもの①

早いもので新学年になって1ヶ月、そして運動会の練習が本格化する中で、子どもたちも新しい環境にだいぶ溶け込んできたようです。

さて、本校の目指すもののうち、本号では“知・徳・体”の“知”の部分について説明したいと思います。教育目標は「よく考える子」で、重点目標は「話をよく聞き、進んで考える子の育成」です。これは、実態として「話をしっかり聞くことが不十分なのでは」という思いから設定しています。言うまでもなく、学校の教育活動のほとんどは「授業」で、年間850～1000時間組まれています。目標の達成に向けて授業の充実に努めていきます。その積み重ねによって目指す児童像は、次の3つです。

- ・ 基礎・基本を確実に身につけ、学び方がわかり、それを活用できる子ども
- ・ 他の考えを認め、友達と共に高め合いながら学習に取り組める子ども
- ・ めあてを持ち、よく考え、自分の意見や調べたことを表現できる子ども

具体的な取り組みとして、次のことなどを実践していきます。

- (1) 基礎的・基本的内容の確実な定着と活用力の育成に努めます。
 - ・ ねらいや評価規準を明確にし、そのための手立てを工夫する。教具やICT機器を活用する。
 - ・ 「学び方」を習得させる。ノート指導を充実させる。
 - ・ 習熟や繰り返し練習する時間を確保する。
 - ・ 「定着確認シート」を活用する(←5・6・9・11・1・2月に県教委が提示する問題です)。
- (2) 読解力、思考力、表現力を向上させます。
 - ・ 学習課題(めあて)の設定を工夫する。多様な体験の機会や場を積極的・計画的に設定する。
 - ・ 言語能力の基盤である国語科の授業を充実させる。
 - ・ 言語活動(説明する、話し合うなど)を充実させる。
(考えや意見を持ち表現する機会を設定し、互いに“感化”を受けるような“交流”を目指す)
- (3) 先生方の校内研修の充実を図ります。
- (4) 家庭学習と読書の習慣化を図ります。
 - ・ 「家庭学習の手引き」を活用(配付)する。
 - ・ 学校司書・学校図書館を活用した授業を実践する。
- (5) 豊かな体験学習を推進します。
 - ・ 学習田の学習、特別非常勤講師の活用、地域素材の学習、森林環境学習
 - ・ 文化芸術に関わる事業の実施(仙台フィル、おでかけアリオス、ヤングアメリカンズなど)